

No. 2

石川 清 (いしかわ きよし)

プロフィール	医師、東海学園大学学長、名古屋第二赤十字病院名誉院長。名古屋大学工学部航空学科を卒業後、「人のいのちに向き合いたい」と医学部に再入学。麻酔・集中治療・救急医療を専門とし、名古屋第二赤十字病院で集中治療部長、救命救急センター長、院長を歴任。阪神淡路大震災、スマーダン紛争、イラン南東部地震、スマトラ島沖地震津波災害、東日本大震災など国内外の救援活動にも参加。その功績により救急医療功労者厚生労働大臣表彰（2012）、瑞宝中綬章受章（2021）。ラグビーとテニスを生涯のやりがいとし、現在は愛知県テニス協会会長。医療現場で培った経験を生かし、コーチングを学び、日本コーチ協会認定メディカルコーチとして人の成長支援にも取り組んでいる。
授業主旨	この授業では、私が医師として国内外の災害や紛争の現場で見てきた「命の尊さ」と「人が支え合う力」を基に、世界の課題を“自分ごと”として考える時間にしたいと思います。人生は筋書き通りには進まず、災害、病気、出会いなど予期せぬ出来事で進む道は変わります。私自身も大病を経験し、一患者として“生かされている意味”を深く見つめ直しました。その中で、どんな状況でもその時々にやりがいを持って生きることが、意味ある人生につながると確信しました。ラグビーやテニスで試練を越えて学んだ仲間の力、医療の現場で感じた“人が人を思う心”、そして大病を通して知った命の大切さ。これらはすべて、私に“地球市民としてどう生きるか”を問い合わせています。この授業が、皆さんのが自分の未来を考えるきっかけとなることを願っています。
実績 ※2026 年度 から講師	